



▲箕浦さん(写真左)からアートについて学ぶ参加者



上 シャルドネのほ場見学も行われました
下 ワイナリーを視察する参加者

8 9・10 パラアーティスト デザインボトルプロジェクト

アートでつながる輪

大府産シャルドネを使ったワインラベルのデザインを募集するパラアーティスト・デザインボトルプロジェクトが始動しました。市は、昨年開催した障がい者アート展「パラアートおおぶ」をはじめ、障がい者の制作活動を応援する取り組みを始めています。今回は、ワインボトルのデザインを募集。9日にはワークショップが行われ、市内在住のグラフィックデザイナーの箕浦希奈さんからアートについて学びました。10日にはワイナリーの見学が行われ、生産者の思いや大府産シャルドネの特性、醸造の工程などを学びました。

8 2 ドリームプロジェクト号お披露目会

子どもたちの夢を乗せて

メディアス体育館おおぶで、子どもたちの夢と大府市と大府高校をPRする写真が描かれたデザイントラックがお披露目されました。このトラックは鳴海急送(北崎町)の所有で、「子どもたちの夢を乗せて走る」をコンセプトに展開する「ドリームプロジェクト」に賛同し、制作されたものです。トラックの荷台には、ブドウやバイオリン、大府高校の部活動の写真とともに「ハリウッドスターになりたい」といった子どもたちの夢がデザインされています。



▲街中で見かけたらラッキー

8 18 夏の甲子園準々決勝 愛工大名電 対 仙台育英

市出身の市橋選手、甲子園で活躍

愛工大名電の二塁手としてレギュラーを張る市橋昂士選手が、2年連続で夏の甲子園の舞台に立ちました。星陵・八戸学院光星・明豊と名だたる強豪校に勝利。迎えた準々決勝の仙台育英戦で惜敗するも、市橋選手は県大会初戦からこの準々決勝まで、10試合連続安打を記録する大活躍でした。大会を終え、「仲間と甲子園に行けて良かった。自分を愛工大名電に送り出してくれた家族に感謝です」と話しました。



▲セカンドの守備につく市橋選手

7 30・31 共長夏まつり 8 6・7 大府夏まつり

帰ってきた大府の夏まつり

7/30・31にJR共和駅西広場周辺で共長夏まつり、8/6・7にJR大府駅東広場周辺で大府夏まつりが3年ぶりに開催され、多くの来場者でにぎわいました。それぞれの会場に設けられたステージでは、ダンス・楽器演奏・ゲーム・バルーンパフォーマンスなどが披露されました。ステージ終了後には、ロータリーに設けられた会場で、浴衣姿の子どもたちや親子連れが盆踊りを楽しみました。



上 露店が並び、多くの来場者でにぎわう会場
下 ステージで披露されたフラダンス



▲みんなで輪になって盆踊りを楽しみました

7 28 鈴木バイオリン製造株式会社工場見学

バイオリンの製造現場を公開

鈴木バイオリン製造(株)で、工場見学会が開催されました。参加者は鈴木政吉氏が製作した1号バイオリンや、親交のあったインシュタイン博士からの手紙、当時のバイオリン製造指示書などの貴重な資料について説明を受けた後、工房内を見学しました。工房では、バイオリンの表板と裏板では材質が違うことや、板の曲面を手作業で削り出していることなど、製作途中のバイオリンに触れながら、製造過程を学びました。



▲バイオリンの製造過程を学ぶ参加者

7 22 宮下隼輔選手所属の東邦ガス 都市対抗野球初戦で粘り及ばず

夢の舞台上、初ヒット

東京ドームで開催された第93回都市対抗野球大会に市出身の宮下隼輔選手が出場しました。宮下選手が所属する東邦ガスは、ミキハウスに2対3で惜しくも敗れましたが、6回裏に代打で登場した宮下選手は、同点の起点となる四球で出塁。その後、二塁の守備につき、7回裏には本大会での初ヒットを飾りました。宮下選手は「次の社会人野球日本選手権に向け、チーム内競争を勝ち抜き、活躍したい」と話しました。



▲初ヒットを打つ宮下選手



#大府特産「巨峰」の最盛期 #贈答にぴったり



#広報おおぶ表紙写真展



#夏といえば盆踊り #共長夏まつり



#盆踊りといえば浴衣 #大府夏まつり



#大府みどり公園の緑のトンネル #避暑地



#夏の大倉公園 #夏のもみじ

大府のいいところを発見したら、「#obu_style」でどんどん投稿してね♡

健康都市おおぶの魅力をたっぷり発信中♡



市公式インスタグラム

アカウント名
obu_style



PLEASE FOLLOW ME!